

都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和5年5月調査)

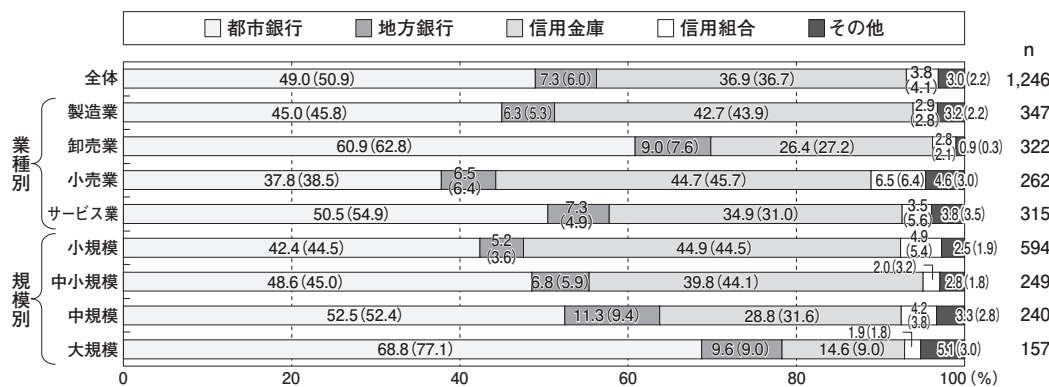
1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が49.0%（前回調査50.9%）と最も高く、「信用金庫」が36.9%（同36.7%）、「地方銀行」が7.3%（同6.0%）、「信用組合」が3.8%（同4.1%）の順となった。

業種別にみると、卸売業は「都市銀行」が60.9%（同62.8%）と最も高く、小売業は「信用金庫」が44.7%（同45.7%）と高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模は68.8%（同77.1%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

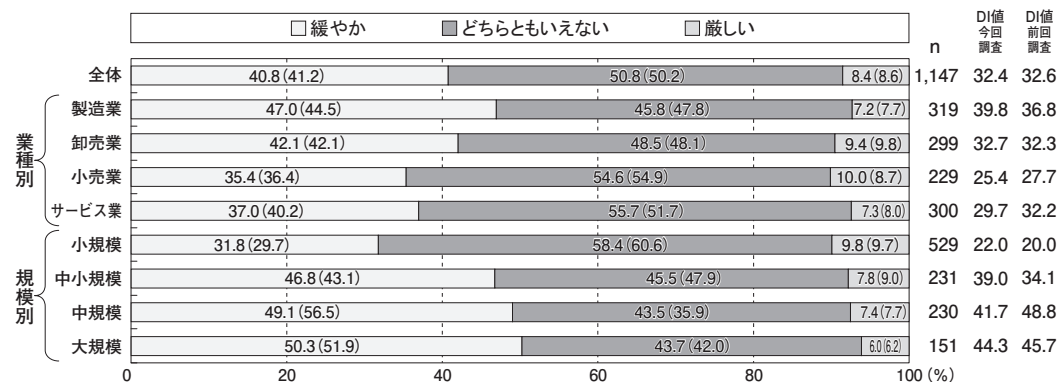
2. 借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値(「緩やか」-「厳しい」)でみると、全体では32.4(前回調査32.6)となり、前回調査と比べて0.2ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、小売業とサービス業で減少し、製造業と卸売業で増加した。

規模別にDI値をみると、中規模41.7(同48.8)は7.1ポイント減少、大規模44.3(同45.7)は1.4ポイント減少した。

図表2 取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

3. 主な取引金融機関からの借入金利

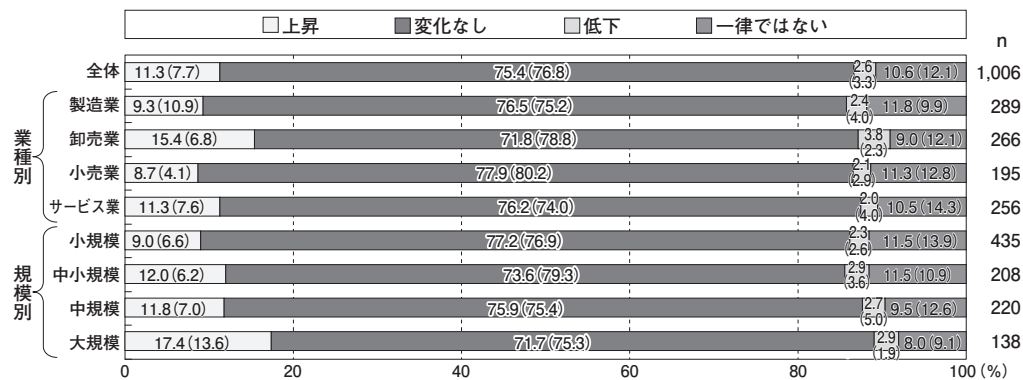
(1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が75.4%（前回調査76.8%）と最も高い。また、「上昇」が11.3%（同7.7%）となり、「低下」の2.6%（同3.3%）を上回った。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業の「上昇」は15.4%（同6.8%）と高い。

規模別にみると、前回調査と比べて全ての規模で「上昇」の割合が増加した。

図表3 金利傾向



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

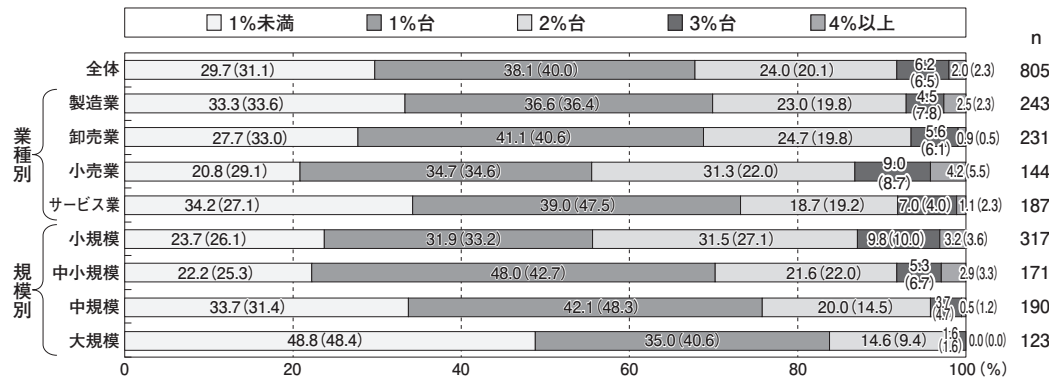
(2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「1%台」が38.1%（前回調査40.0%）と最も高く、「1%未満」が29.7%（同31.1%）、「2%台」が24.0%（同20.1%）の順で続いた。

業種別にみると、小売業は2%以上が44.5%（同36.2%）と4割を占める。

規模別にみると、規模が小さくなるほど2%以上が高くなり、小規模は44.5%（同40.7%）となった。

図表4 金利水準



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年11月)の数値。3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 資金需要

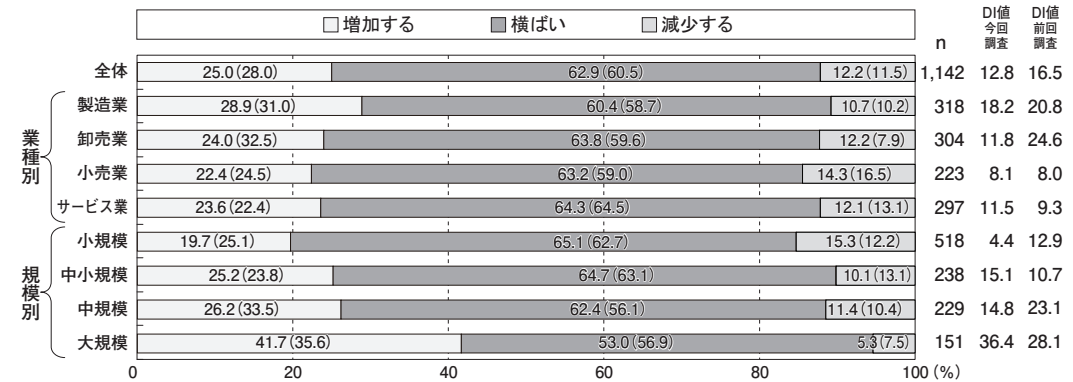
(1) 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値(「増加する」-「減少する」)でみると、全体では12.8(前回調査16.5)と前回調査と比べて3.7ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、製造業と卸売業で減少した。なかでも卸売業11.8(同24.6)は12.8ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、小規模4.4(同12.9)は8.5ポイント減少、中規模14.8(同23.1)は8.3ポイント減少した。

図表5 資金需要(今後3か月間)

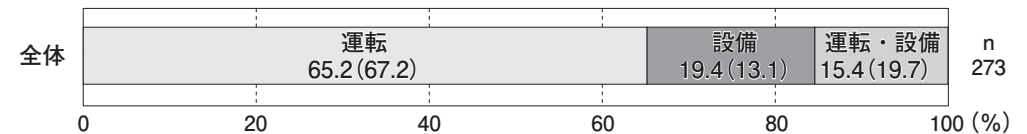


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 資金使途

資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が65.2%(前回調査67.2%)と最も高く、「設備」が19.4%(同13.1%)、「運転・設備」が15.4%(同19.7%)となった。前回調査と比べて「設備」は6.3ポイント増加し、「運転」が2.0ポイント減少した。

図表6 資金使途

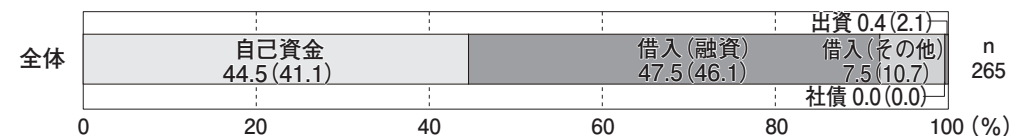


注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。()内は前回調査(令和4年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(3) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「借入(融資)」が47.5%(前回調査46.1%)と最も高く、次いで「自己資金」が44.5%(同41.1%)となった。前回調査と比べて「自己資金」は3.4ポイント増加、「借入(融資)」は1.4ポイント増加した。

図表7 調達手段



注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。()内は前回調査(令和4年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 金融機関からの借入金総額の状況

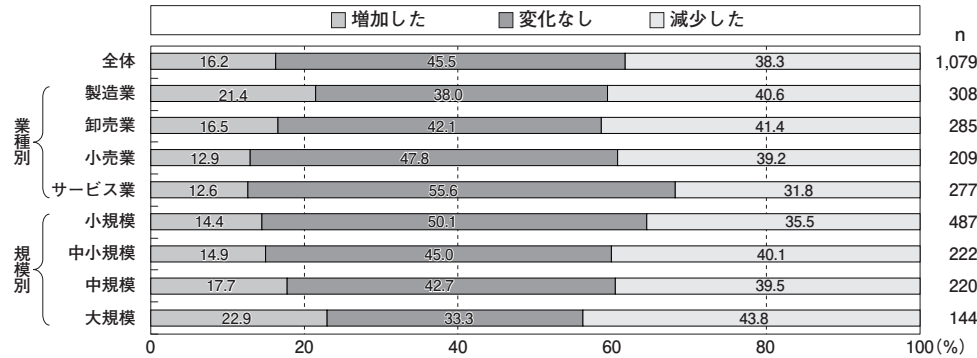
(1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が45.5%と最も高く、「減少した」が38.3%、「増加した」が16.2%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「増加した」が21.4%と高く、卸売業は「減少した」が41.4%と高い。

規模別にみると、大規模は「減少した」が43.8%となった。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

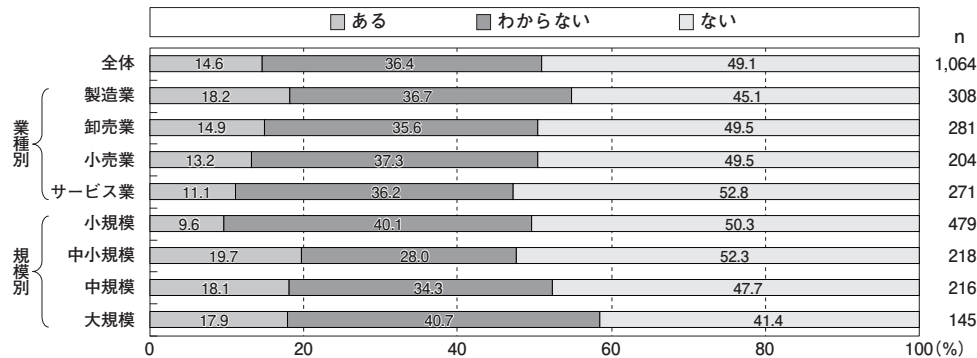
(2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が49.1%と最も高く、「わからない」が36.4%、「ある」が14.6%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「ある」が18.2%と高く、サービス業は「ない」が52.8%と高い。

規模別にみると、小規模は「ある」が9.6%と最も低い。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。